

第4回 みんなで考えよう、公共施設のあり方ワークショップ成果発表会
参加者アンケート（ワークショップメンバー）

問1 本日の成果発表会はいかがでしたか。	人	割合
1. とても良かった	31	72%
2. どちらかといえば良かった	8	19%
3. 普通	1	2%
4. どちらかといえば良くなかった	0	0%
5. 良くなかった	0	0%
6. アンケート未回収又は未記入	3	7%
	43	100%

問1の理由・感想
1～3回で各々が話した案を意見交流しながら伝えることが出来て良かった。似ている考え、新しい視点で公共施設について知ることが出来た。
様々なアイデア、活発な意見交換は刺激的でした。
今までの話し合いがまとめられ、個人が気になるところを質問したり出来たため。
時間がたっぷりあったので、しっかり話げできた。
色々なグループの思いが分かり良かった。直接話すといろんなアイデアが出てきて面白い。
他のグループの方々とも意見交換したり、幅広く考え方を聞くことができた。
同じようにコミュニティについて考えている人たちの多いことが分かり、安心するとともに、将来へつなげてくれる若い世代もいることがうれしい。
行政（人・モノ・金）の中では、人を上手に動かせる努力が必要である。モノや金は後からついてくるものと考えて、実行してみることが大事である。
情報発信の必要性、アクセスの重要性がキーポイント。
各班で、取組が異なっていて気づかされることがあった。
色々な情報を得ることが出来たのが良かったです。課題としていることも共通していることが多く、方向性が見えたのは良い。
各区ごとの考えが理解できた。
各班（グループ）とも独自の発想をもち、具体例を掲げている。
全ての人が説明者となったこと。
他部門の取組（希望）等興味があった。
斬新な意見が多くて視野が広がった。
各グループの問題点や良い点がわかって、当グループでもやってみたいです。
色々な世代と話せたこと。
他の地区の方々とお話しが出来て良かったです。
色々な方、色々な考えの方とお話しでき、勉強になった。
成果発表会は、みんなが話し合える一番効果のある機会であった。
各グループ構成員の方の熱意を感じました。
他のグループから多様な意見を聞くことが出来た。
様々な組が、アイデアを出し、素晴らしい発表でした。
他の区の現状などが知れた。
緑区の色々を知りました。
全部回るには時間が足りなかったが、あまり長時間だと疲れたかも。
プレゼンターがずっと話してしまう班があったり、質問者とプレゼンターが1対1でずっと話されていて、質問をすることが出来ない班が多かった。前回や前々回に休まれて、プレゼンターになれないと思われている方もいらした。スケジュール的には、間延びせず、タイトにできるので良いと思う。
面白かった。
行政と住民の協働は尊いと思う。
様々な考え方があることを改めて知りました。みんな、この街のことを真面目に考えています。
公共施設の今後の取組方が見えてきた。
どのグループのポスターも特徴があって、見ていて面白かった。

問2 ワークショップや本日の発表会に参加してみて、参加前と比べて公共施設に対する意識や考え方が変わりましたか。	人	割合
1. 変わった	32	74%
2. 変わらない	6	14%
3. わからない	1	2%
4. その他	1	2%
5. アンケート未回収又は未記入	3	7%
	43	100%

問2の理由・感想
知らない公共施設を知ることが出来た。また、相模原市の課題（交通とPR方法）と素敵な公共施設について理解することが出来た。
いかに使うべきか、どうしたら地域が良くなるか、考えるようになりました。
今までは自分や家族に関わりのあるところしか知らなかったし、利用しなかったけれど、グループで話し合ったり意見を出し合うことで、色々な意見や気持ちを聞くことが出来たからです。
日ごろ、気づいていても流してしまっていることを思い出すきっかけになった。自分の周りだけでなく、広い世代や地域のことを考えていきたい。
色々な施設があることを知った。利用のしやすさが良ければもっと使用できる。交通の便が良くなるのが大切。それが利用にもつながる。情報発信が足りないのは共通した課題だと思った。
もっとも活用できる施設もあることが分かった。
今までは利用しなかったが、今後、利用することを考えると、何をしてくれるのだろうか、何をしたい場所にしなければとの思いに変わった。自主性をもって考えることが出来た。
地域により差があり、様々な考え方、意見がある。考えることをまとめることの難しさを実感した。
体調のこともあり、参加していないことが多かったのですが、これからは積極的に参加できればと思いました。
色々な情報を得ることが出来たのが良かったです。課題としていることも共通していることが多く、方向性が見えたのは良い。
以前はあまり関心がなかったが、積極的に考える姿勢が出来た。
前から課題として思っていた。
自分の近隣の公共施設しか利用していなかったが、他も利用することにする。
やっているイベントを知る機会があれば行こうと思うので、情報が大切だなと思った。意外なところで工夫がされていると興味につながるので良かった。
名前に関係なく、老若男女が使えて多くの講座があるので、使用してみたいです。
ここを、どうやって知ってもらうかと、公民館等を使用するときに考えるようになった。
もっとまじめに公共施設を考える必要があると思った。
一部の施設のことばかり気になっていたが、市民の問題意識や、こうありたいという考え方があることが分かった。
市民として、もっと関心を持っていきたい。
以前より周りをよく見るようになった。
地域性を考えて変えていかないとダメだと思いました。
今まで知らなかった施設や地域格差に目を向けるきっかけになりました。
意識は似たようなところにあっても、提示や表示の方法が少しずつ異なっていて興味深かったです。
おそらく、今事業以前から、意識や考え方は強い方だと自覚しているため。
予算にとられるのは、能がないと気づいた。
どの地区も移動手段が一番問題になっている。
公共施設は公が関わっている所と思っていますが、もっと幅広く捉えられることも知りました。
学校は公共施設に入らないと思ったが、教室の空いているところの利用もあり。
不足のみあげつうだけでは何も解決しない。多くの人が改めたためかと思っている事、知らされました。
公共施設に対して、もっと柔らかなイメージをもって良いことが分かった。

問3 今後、お住まいの地区を対象とした具体的な公共施設のあり方ワークショップを開催する場合、参加したいと思いますか。	人	割合
1. ぜひ参加したい	19	44%
2. タイミングが合えば参加したい	21	49%
3. 参加したくない	1	2%
4. アンケート未回収又は未記入	2	5%
	43	100%

問3の理由・感想
今回のワークショップから知ったことが多く、大変興味を持てたから。
幅広い知識に触れることができる。
他人ごとではなく、自分ごとで考えることが出来れば実現しやすくなると思うからです。
不満を言うだけでなく、ディスカッションすることで、建設的な気持ちになれるから。
いろいろな考え方、アイデア、視点を知ることが出来て良かった。
実行可能な案件を様々な角度から考えることが出来るから。
いろいろな意見を聞くことが出来、有意義だった。
違う考え方や方向性など、考えて楽しかったです。
今回の成果を次につなげるためのワークショップを開催して欲しい。
以前はあまり関心がなかったが、積極的に考える姿勢が出来た。
勉強になる。
更に利便性を良くするために参加したい。
地元なら詳しいので、その地ならではの案が出そうで面白い。
自分に合った内容とか問題点を改善したいから。
仕事の都合がつけば、是非参加したい。
鹿沼公園の公園施設移転問題を考えたい。
提案を実現するため。
今回、参加してみて理解を深めることが出来たから。
色々な方の意見を聞くのは良いですが、仕事等で参加できないかもです。
タイミングや回数次第ですが、地元であれば参加しやすいかもしれません。
南区は多分、下方修正する項目が多くなるかと。今回参加メンバーが集まれば、良いアイデアがでる！？
興味がある参加者ばかりだと参考にならない可能性はありますが、南区と関わってまちづくりを考えているため。
色々な方の意見が聞ける。
本来は、住民の権利だと思うので。
公共施設の使い方を市民として考え、実現したいと思っているから。
6時間で2日くらいで結果が出せたらよい。
今回参加して、必要性、強く感じました。身近で何かのメリットを確保したい。
全て出席できるかわからないので。

問 4 そのほか、ご意見やご感想があればお書きください。
もっと、公共施設ではなく、「市役所をどうする？」といった気軽なタイトルのほうが、若者のワークショップ参加が増えるのではないかと思います。とても勉強になる機会をありがとうございました。
ありがとうございました。
大人だけでなく、中学生や高校生、大学生など若い人の意見を聞いたりする機会があれば、もっと良くなるのではないかと感じました。たまたま、このワークショップにお誘いいただけたので、知らない人たちとお話しでき、市のことについて考える機会をくださり、ありがとうございました。
話の進め方や首都大の先生や学生さんのサポートなど、ワークショップとしてとても面白かったです。その都度まとめて下さり、フィードバックも良かったです。
参加者で何かを作るワークショップは楽しかったです。サポーターとして、学生さんが参加してのワークショップは良かった。先生、学生さん、ありがとうございました。
施設をどう使い倒すか、どう情報発信するかがまず大切だと考えている方が多いと感じました。公共施設の再編は、コミュニティづくり、まちづくりと一体のものだと改めて思いました。次のステップはもっと大変だと思いますが、頑張ってください。
世代を超えて、意見交換が出来たことに感謝します。
SNSでの発信を含めて、問題をどんどん公表していくことが大事です。
すぐにも実現できそうな内容（情報発信の仕方や整理など）もあると思うので、取り組んでほしいと思います。
課題のある可能な施設でワークショップを開催し、現状を見て検討することも必要と思う。
各グループが発表した内容が実現化されれば良い。
元々結論の出る問題ではない。多様な意見があって良い。
知らない施設や場所（住んでいない地区）を知ることが出来た。地区によって問題点が違うんだなと思った。具体的に考えるのもいいね！
たくさんの掘り出しものや意見、多くの考え方があって、自分に適したものがあれば、是非、トライしてみたいです。
この4回のワークショップで、初対面の方々と話し合いをする中で、私の考え方が変わっていくのを知り、とても勉強になった。
どこの地区も考えることは同じだと思った。
多くのグループで、公共施設の利用、アクセス、イベント等に関する課題を解決するための行政側の本気度がどうなのかが重要だと思います。
開催間隔が長い。2回/月位で、もう少し回数を増やしてほしい。
この発表が少しでも前進して、住みよい市になったら良いと思う。
様々なグループからすぐにも使えるようなアイデアがいくつかあり、大変参考になりました。
みなさん、積極的に意見をおっしゃっていて、また、同じ地域に住んでいる人たちならではの情報交換が出来て、参加していて楽しかったです。
緑区の拠点化⇒各区に一つ。JTBみたいな仕様であつたら色々便利になり、又、サービスやニーズをとらえる機会を得ることが出来ると思います。
車の参加者には、ガソリン代は出ないものの駐車券が配られます。環境他を考えると、公共交通の利用が適当かと思われ、公共交通費は含まれません。行政のイベントはするように統一されていると考えられますが、全体でも再考の機会を作ってください、提案いたします。
テーマを絞って、公民の授業などで今回のような催しを導入したら良い。教育効果が高いし、自立心や権利意識も涵養される。
住んでいる地域が違って困りごと、要望はあまり変わらないなと感じた。都市部、山間部を含め、それが相模原の問題だと再確認できた。
このような場に参加して、考え方が広がったように思います。
今回のワークショップで、讃岐先生のコメント、大変参考になりました。援助の職員、学生方に感謝いたします。
面白いアイデアがあるが、諸々の問題クリアが必要であり、方針認知、即実施（年内）、将来実施等、区分して、まとめてほしい。何かが変わらなければ、熱も冷めます。

第4回 みんなで考えよう、公共施設のあり方ワークショップ成果発表会
参加者アンケート（一般参加・学生）

問1 本日の成果発表会はいかがでしたか。	人	割合
1. とても良かった	14	74%
2. どちらかといえば良かった	2	11%
3. 普通	2	11%
4. どちらかといえば良くなかった	0	0%
5. 良くなかった	0	0%
6. アンケート未回収又は未記入	1	5%
	19	100%

問1の理由・感想
参加者同士の議論が非常に活発で、お話を聞いてとても楽しかった。
市民の方々がとても積極的にお互いの意見を交換していて、良い雰囲気が出来たと思います。
みんなが積極的でとても盛り上がっていたと思います。楽しかったです。
市民の方が発表して、コミュニケーションを色々な人ととれる点が良かった。
途中から参加したため、流れがつかめず、あまり評価できませんでした。
どの提案も、考案者の思いが詰まっていたので。
ワークショップ参加者ではなく、見学に初めて来ましたが、始まってからエンジンがかかるまでが少し時間がかかっていたようで、これまでを知らない身としてやや緊張してしまいましたが、学生さんの声をきいて①になりました。
真面目な人が集まっている。無関心な人を取り込む工夫を。
幅広い世代の方が地域を良くしたい。そこに参加したいという熱い思いが感じられました。

問2 ワークショップや本日の発表会に参加してみて、参加前と比べて公共施設に対する意識や考え方が変わりましたか。	人	割合
1. 変わった	11	58%
2. 変わらない	3	16%
3. わからない	2	11%
4. その他	0	0%
5. アンケート未回収又は未記入	3	16%
	19	100%

問2の理由・感想
公共施設に対してのイメージは知名度がない、情報が少ないといったネガティブなイメージを持っていたが、本ワークショップで、住民が問題意識を持ち、現状を変えたいと思う人がたくさんいることを知れて、刺激的だった。
公共施設は手続きをしたり、部屋を借りて使うものだと思っていましたが、より自由度の高い施設が求められていることが分かりました。
今までは公共施設について意識していませんでしたが、WSを通してもっと気軽に利用していいんだと思えるようになりました。
公共施設をもっと活用していきたいと思った。
市民の方の公共施設に寄せる期待が大きいことが分かった。
公共施設というときに、みなさんハード面ではなく、中身のことを考えているんだなあということが知れて良かった。ハコの問題じゃないんだと再確認できました。受け身でないのも良かった。
負の議論より、市がリーダーシップをとって、都市計画を決める。
ご年配の方は学校になつきさを感じ、愛着を持っていただいている。市の資源を市民にアピールしたいと感じている方が多く、公共施設の役割を発見しました。
改めて、問題としてとらえている部分の共通認識を得ることが出来た。

問3 今後、お住まいの地区を対象とした具体的な公共施設のあり方ワークショップを開催する場合、参加したいと思いますか。	人	割合
1. ぜひ参加したい	5	26%
2. タイミングが合えば参加したい	10	53%
3. 参加したくない	0	0%
4. アンケート未回収又は未記入	4	21%
	19	100%

問3の理由・感想
私の住区周辺には、そういう施設がないほか、近所同士のつながりがほぼないことに危機感があるから。
自分が住んでいる地域について、もっと親身になって考えたいと思えました。
大勢で公共施設を考えることで、様々な意見を聞くことが出来て面白い。
こういった機会は地域同士のコミュニティにもつながると思うので、ぜひ実施して欲しい。
地元でも、自分事になる人を広げたい。
鹿沼公園の複合施設を早く作ろう

問4 そのほか、ご意見やご感想があればお書きください。
ハード面での整備よりも、いかにネットワークをつくるかが大切だと思いました。
各チーム、違った視点での発表が大変面白かったです！施設までの導線のことまで考えていて、すごいと思いました。
行政にお任せでなく、市民の勝手でもなく、協働は大事と改めて感じた。やりっぱなしではなく、どうつなげて発展、実現していけるか、それがどう広がっていけるか、これからがどうしていけるのか、考えて動いていきたいと思いました。
公をテーマに夢を語り合える意義深い場になっていると思いました。
公共施設の統合再編、活用策の検討は大事だが、耐震性の面から解体、再建の費用を抑制する方法の検討が必要。